

広報

くにみ

No.291

1997

9



平成9年9月15日……………



福島県女子ジュニアソフトボール選手権大会
に出場した森江野スポーツ少年団・女子チーム
の1回戦。初回、相手チームに大きくリードさ
れましたが、おとうさんやおかあさんの応援で
打線が爆発、大量得点であっさり逆転勝利しま
した。8月2日に開幕したこの大会には、県内
の地区予選を勝ち抜いた強豪14チームが出場し、
熱戦を繰り広げました。

打って、
走って





好きです、 国見町。

「私たちが暮らす国見町。この町の良さとは一体何でしょう。私たちの町をもっと暮らしやすい町にするにはどうしたらいいでしょう。農業、工業、医療、文化団体、体育協会、青少年育成、そして老人クラブに携わっている方々のご意見を掲載します。町づくりの主役はみなさん一人ひとりです。どうぞこの町をもっと見つめて、もっと好きになってください。」





施設を上手に活用したい

国見プラウエン代表 阿部紀子さん

平成六年四月に開館した観月台文化センターは、音響効果のすばらしいホールがとて魅力的な施設です。

とくに評判の良い多目的ホールが多い中、観月台のホールは、収容人員、規模、使いやすさ、ステージに立つ者と客席にいる者との一体感などが絶妙なホールです。それにホール備え付けのピアノはオーストリア製です。「もったいない」という人がいますが、「このピアノがあるから観月台に来た」と言い切る一流の演奏家もいるほど、音色も響きもすばらしいピアノです。クラシック音楽が好きなら私は、音の響き具合がちょうど良いこのホールが大好きです。

また、文化センター内の図書室なども頻繁に利用する私には、「今日もセンターか」と家人に

われるほど身近な施設です。

近隣の人を町へ

これだけ立派な施設があるのですから、施設を核にした町づくりの方策を積極的に進めてみてはいかがでしょうか。この町に住む私たちが第一にその恩恵を受けるのは当然のことですが、国見町以外の人にもこの町へ足を運ばせるソフト事業の展開も必要だと思います。イベントにしても文化事業にしても一萬二千人だけで消化してしまうのではなく、近隣の人を町に呼び込み、町を良く知ってもらう、この町を元気にする、そういうことも大事だと思います。もっと積極的に宣伝や広告活動を行ってもいいのではないのでしょうか。早めに、町内外のたくさんの人に知らせてくれればいいのにも思います。

それにもう一つ、町が主催する文化事業の選定については、文化団体や私たち町民の希望や意見を聞いていただければと思います。予算編成の前にこのような機会を設けていただけるとうれしいのですが、今よりもグレードの高い演奏家や演劇人の公演に接したいと思えますもの。

一人ひとりが担い手

開館したばかりのときに、近隣のおかあさんコーラスや琴のグループと開いたジョイントコンサートで、国見プラウエンの一員としてステージに立たせていただきました。そのときの胸の高鳴りは、いまだに忘れられません。

一流の芸術家の公演を見聞することも楽しいことですが、この町に住む私たち自身がステージに立つことも同じように大切だと思います。なぜなら、町づくりの担い手は、私たち一人ひとりなのです。

ここが🌸!

昭和51年に国見町に越して来たときには、「封建的で閉鎖的な町だ」と多少の不安を感じました。でも、長年住んでみると四季折々に表情を変える自然、モモやリンゴなどの果物してお米などのおいしさに満足し、地域の人たちとの交流を持つことのできる文化施設もあり、とても住み良い町であることを誇りに思います。また、交通の便が良いことも自慢の一つです。





変わらずにいてほしいこと

国見町老人クラブ副会長 佐藤イクヨさん



老人クラブのほかにシルバー人材センターや公民館の阿津賀志学級の役員もしている。忙しいですよ。それに白菜や大根、ホウレンソウなど、家族が食べる野菜作りもしているし。じつとしている時間はないかもしれません。体が丈夫だからできるんですね。いくつになっても、健康が一番です。

唐ぐわで開拓した時代

国見町に来て五十年になります。私が住んでいるこの辺り（小屋館）は、戦中から戦後にかけて、みんなで開拓した所です。朝から晩まで、唐ぐわで切り開いたんですよ。杉の木を切り倒し、根っこを掘り起こし、畑にしました。水がたまる所ならどこでも田んぼにしたし。不平もいわず助け合いました。食えることが何よりも大切な時

代でしたから、みんな必死でした。切り開いたこの高台に家を建て、ほっと一息ついた春、家の前から遠くを見ると、菜の花、レンゲ、桃の花が咲き乱れる中、つうつと流れる阿武隈川が見えました。その景色がとてもきれいで忘れられません。自然の美しさに何度も勇気付けられました。

情が薄れたのかしら

食べ物はもちろん、生活物資にもこと欠く時代だからこそ、隣近所との付き合い方が今よりも親密だったような気がします。お金はなかったけれど人情味がありました。しょう油、味噌、米の貸し借りなんてことはしょっちゅうでしたし、楽しいこともつらいこともみんなで分かち合いました。ところが今の人たちはどうでしょう。この町に住む人でさえ、ぜいたくになつたからか、自分のことしか考えていない人が多くなつたように思います。戦中にたくさんの若者を戦地へ見送つた私たち。妻や子どもを残して逝つた若い彼らのことを忘れられずにいるからこそ、人の心が変わっていくことが残念でなりません。

人の優しさや温かさ

人をうらやんだりせず、人には親切にすること、人のためになつて生きること考えながら毎日暮らしています。また、自分のことは自分でする、人を頼ったり、あてにしたりせずに生きていきたいとも思っています。でもね、どうしても隣近所の人に助けてもらわなければならない場合は、気兼ねせずに甘えようとも思っています。人としての温かさや優しさ。時代が変わっても豊かになつても、そういう気遣いがいつまでも自然にできる町であつてほしいと思います。

ここが  !

デイサービスセンターは、私たちの間でとても好評です。見晴らしの良いお風呂と一緒に食べる昼食、そして何よりも、みんなで作品づくりをしているんですよ、あれが楽しいですね。忙しくて、なかなかデイサービスのお世話になれないことが、ちょっと残念です。自然がすてきだし、食べ物もおいしい、老人クラブへの町の支援も充実しているこの町が大好きです。





柔道の仲間たち

柔道スポーツ少年団指導者 本田林一郎さん

柔道との出会いは、高専の一年生のときです。初めて柔道着を着たときに、一生柔道に関わっていくんだという運命的なものを感じました。今、子どもたちに技をかけられ、投げられていて幸せです。柔道をしている子どもたちは、教える子というより柔道を志す仲間たちです。生涯現役を目指します。

練習中の子どもたちはとてもぎやかですよ。いくら号令をかけても思い通りに動いてくれない。それがいいんです。子どもとは、そういうものなのです。

基本をしつかり

体の発育に応じた練習が大切ですから、小中学生のうちには厳しい練習をしません。柔道の練習の合間に、スキー、サッカー、サイクリングなども

行っています。いろいろな運動を楽しみ、バランスのとれた体を作ってほしいと思っています。小中学生のうちには、勝負だけにこだわった練習をしていないので、大会ではなかなか良い成績はとれません。でも、体が出来上がる高校生になると途端に頭角を現します。早くに柔道の花を咲かせることは考えていません。柔道の基本を身につけることといういろいろなスポーツの楽しさを知ってもらうことが大切ですから。

変わってきたこと

子どもたちと柔道を始めて二十五年がたちます。今も昔も子どもたちは変わりませんが、彼らを取り巻く環境が変わってきたように思います。時の流れがとても早く、自分を見失い、流されてしまう大人が多くなってきた気がします。大人こそが、相手を思いやる余裕を持ちたいものです。柔道で投げられたり、けられたりしているうちに痛みを知ります。小さいうちに痛みを体験することで相手を思いやる心が育まれます。すぐに消える体の痛みとなかなか消えない心の痛み。子どもたちには、この両方の痛みを思いやることのできる人になってほしいと思います。

子どもたちと過ごして

子どもは、みんなかわいくてしょうがない。私たちに意見をいうときの一生懸命な表情がとても良い。練習のとき、私は子どもたちと一緒に騒ぎまくっています。子どもたちから元気の元をもらっているようなものです。

社会人や学生となった、かつての子どもたちが今、私たちと一緒に柔道を教えています。練習の後に、彼らと酒が飲めるようになったことが何よりもうれしいです。

ここが !

この町は、大きく変わらないから好きだなぁ。人を増やすことや開発することはばかりが町の発展ではないでしょう。そういうことと生きがいのある暮らしとは全然別なものだと思います。

自然がどんどん壊されていく中、自然をいかに残すかが重要な時代です。町が壊れつつのままでいてくれたらと思います。

あくせくしないこの町が大好きです。





地域に根ざした医療

公立藤田総合病院院長 朽木 渉さん

私たちの病院には、内科、外科、小児科など十三の診療科があり、地域医療の要として地域に密着した医療を進めています。

一日の外来患者数は一千二百人から一千三百人です。このうちの約四割が七十歳以上のお年寄りです。また、病気を種類別にみると高血圧症や心臓病など循環器系の病気が多いようです。これらの数や病気の種類は、県平均あるいは全国的に見られるものとはほぼ同じです。

毎日の診療のほかに地区の一般健康診査や予防接種、子宮ガンや乳ガンなどのガン検診なども行っています。

心の安らぎ

高齢社会への対応についても町をはじめとする行政側と協議を重ね、実践しています。その手始

めとして、病院内に訪問看護部を作りました。通院することが容易でない方で、自宅療養をしている方を医師と看護婦が訪問し、定期的な介護をして差し上げています。脳梗塞などで寝たきりになったお年寄りが大半ですが、なかには末期ガンの患者さんもあります。四人の看護婦が一軒一軒を回りながら、お世話しています。

そしてもう一つは、今年の四月に運営を始めた国見町在宅介護支援センターです。寝たきりのお年寄りを自宅で介護している家族の心配ごとや悩みごとの相談を受け付けています。看護婦や医療相談員が二十四時間体制で、介護をしている方のお手伝いをしています。

ここ数年、医療が、治療中心の技術的なものから、患者さんや寝たきりのお年寄りの方の心の安らぎ、あるいは満足度へと変わってきました。施設や病院に入ることよりも、自宅で家族と一緒に暮らしたいと思う患者さんがいるときは、何よりもその気持ちを大切にしたいと思います。医療に携わる私たちは、それぞれの思いをしっかり受けとめ、日々の質を高めるために心を尽さなければなりません。

健康をバックアップ

人が健康に暮らすことは何よりも大事なことです。そのためには、バランス良い暮らし、節度ある生活が大切です。

私たちは、病気の予防、早期発見と治療、そしてその後の介護をバックアップします。今年度は、これまでの人間ドックのほかに最新の医療機器による脳ドックも行うことになりました。

町づくりをするのはみなさん一人ひとりで、そして、みなさんの健康を守ることが私たちの役目です。

ここが🌸!

昭和27年6月に診療を始めたとき、内科、外科、産婦人科の3つの診療科だけだった公立藤田総合病院ですが、今では13の診療科に充実しました。

一方、通院や入院している患者さんだけではなく、医師や看護婦が地域へ出向く医療も行っています。最新の設備を持ち、地域医療の核になる病院がある国見町の医療環境は恵まれています。





私たちと町の努力

国見町農友会 阿部 博さん

土は不思議なもの

子どものころから、農家を継ぐことに何の疑い

約二畝の田畑で、水稲、果樹、野菜の複合経営を行っています。その中でも露地ものキュウリ中心の農業経営です。消費者が安心して食べられる作物を作ることが、私たち農家の役目だと思います。

同じ作物を作っても、農家ごとに色艶やうまみが微妙に異なります。肥料の使い方、水の管理、土の作り方にもよりますが、作る人の個性が作物にはつきり出ます。手をかければかけただけ、応えてくれます。それが生きている農作物を扱う難しさでもあり、農業の魅力でもあります。短大で農業を勉強したとはいえ、実践での経験と感では、まだまだ両親にかなわないことも多いです。



食べ物の考え方

も持ちませんでした。そんな私が、平成元年に町の協力をいただきながら、国際農友会が主催するヨーロッパ研修に参加しました。県内の農業青年と一緒に研修したことで農業に対する考え方が、よりしつかりしたものになりました。

うちには土（田畑）があります。種をまくと、芽が出て、花が咲き、実を結ぶ…。土は不思議だなと思つたら、土と一緒に歩む農業に、より一層、魅力を感じました。

大切な食べ物のとらえ方が、この五十年で大きく変わりました。

戦後の食糧難の時代には、とにかくおなか一杯になればいいと増産が図られました。世の中が豊かになると今度は質です。食べておいしくないものは売れなくなりました。そして今は安全かどうかです。食べ物を考える場所が、腹から舌、舌から頭へと変わってきました。

情報網を利用

これからの農家には、情報化社会の波に乗った経営感覚も必要になってくると思います。パソコンを通じて市場の状況を調査したり、自分で開拓した顧客リストを作ったり、注文を受けたり、あるいは収支計算をしたりといったことも必要になってきます。また、市場相場の動向は天候はもちろんです。今は全国規模の大型スーパーマーケットの買い付け量に左右されつつあります。情報を上手に利用し、自分で出荷調整をすることも大切になってくると思います。

収益を上げることも大切ですが、保存施設などを利用して、上手に休みを取ることができるような農業も考えていきたいと思っています。



ここが🌻!

国見町では、担い手育成型の小坂地区ほ場整備事業、水稲の直播栽培、経営近代化に向けたスピードスプレーヤーやトラクター購入費の補助、そして農道や集落内の施設の整備などさまざまな農業施策を展開しています。また、果樹や米などの国見ブランドを確立するためのソフト的な努力など、「これからの農業」を第一に考えた試みは、若い農家を元気づけてくれます。



企業が出来る町おこし

国見電子株式会社
前取締役社長 廣木孝安さん



企業の三大要素は土地と労働力、そして資本です。私たちの場合は、町から公立藤田総合病院の土地と建物をおつせんしていただきました。資本となる株式も町や町の有力者が株主になってくださいましたし、人の雇用についても株主としての町がとても積極的に協力してくださいました。一つの会社を始めるときの創業費用は莫大です。企業はその費用を何年もかけて取り戻します。創業時のたいへんなときに、固定資産税の減額や町から助成金の交付をいただくのは、会社が早く一本立ちをするためにもありがたいことです。中小企業にとってはなおさらです。

県内の町村の中で、最も早くこのような支援措置を制度化なさったのが国見町でした。町の協力的な姿勢に、どれだけ私たちがお陰をこうむった

か計り知れません。今でもこのような町の姿勢は変わっていないと思います。

会社をつぶさない

バブルの時代に、企業が競って海外から一流のアーティストさえも呼び寄せて、公演を行いました。これがメセナといわれる企業による芸術・文化の援護活動です。しかし、今はどうでしょう。厳しい経済状況の中、多くの企業がこの事業から手を引いてしまいました。

企業、殊に私たちのような中小企業が、町づくりに協力できることというのは、決してこれらの華やかな事業を行うことではないと思います。もっと地味なことです。それは会社をつぶさないこと、そして少しでも地元雇用を増やすことだと思います。とりわけ私たちの会社は、町の協力もいただいたのでありますから、その思いはより強いものがあります。

良さを生かす

国見町は、もつと発展しますよ。これからは真の意味でプロフェッショナルな時代になります。間もなく大企業の時代は終わり、中堅企業が主体となる時代がやってきます。なぜなら、情報網が発達し、地域差がどんどんなくなってきたりしてからです。国見町でも中央との時差がない、素早い対応が可能になります。そればかりが国見町から特色のあることを世界に向けて発信できるようになります。そのときにこそ、この町の住み良さや人間の集積の良さ、これまで培ってきた新技術の集積などが生きてくるはずですよ。

県都である福島市に近い地の利を生かし、福島市あるいは県の機能をも活用するといった能動的な施策を展開している町だと思っています。



ここが🌸!

第一にあげられるのが、交通網の充実によって地理的条件がますます良くなったことです。国道4号、高速道、JR藤田駅、福島市にも近いですね。二つ目はこの町に住んでいるみなさんの人間性です。まじめだし陰日向がない。そういう人たちが私は大好きです。三つ目は町、企業、商工会、農家そして病院がそれぞれの役割をきちんと果たしていることです。



スポーツで汗を流す

国見町体育協会副会長 松浦和子さん

私が加入しているのは家庭バレーボール部です。町の若い女性や奥さんたちの交流を活発にしましょう、近所付き合いも大切にしましょうと結成されました。体を動かすことが好きな女性たちが、にぎやかにバレーボールで汗を流しています。

家庭の中で、お母さんが元氣だと家の中が明るくなるし、子どもだってほっとしますよね。私は練習の合間に、職場での悩みや家庭での心配ごとなども話し合っています。和氣あいあい、スポーツを通して相手を知り、自分を出して、気取らない地域参加をしています。

施設の開放

毎月第三日曜日は何の日かご存じですか。家庭の日です。忙しくても、月に一度は家族が一緒に過ごしましょうという日です。子どもの遊び場が

少ないという意見が広報に載ったとき、毎月一回、この日に上野台の総合運動場を子どもたち開放したと思います。

芝生の上で親子とも、好きなことをして過ごす。人付き合いが上手じゃない親も自然によその人と話ができるだろうし、何といてもあの場所は安全ですもの。月に一度のことですが、難しいことでしょうか。

町の良さを発信

上野台運動公園の総合運動場、グリーンアリーナ、テニスコート、プール、親月台文化センターの体育館。国見町の体育施設の充実ぶりには目を張るものがあります。スポーツが大好きな私には、とてもうれしいことです。

今と将来を考えて造られたこれらの施設を、私たちは上手に活用しなければならぬと思います。立派な施設がそろっていても、利用しなかったり、使いづらかったりしたのでは、もったいないですものね。利用者がたくさんいて、すぐに体育館の床ワックスがはがれてしまう、あるいはグラウンドの芝生が薄くなってしまう、それぐらい利用してこそ、たかさんの費用をかけて造った施設が生きてくるというものです。

また、国見町は住んで楽しい町だということを外に発信しなければならぬと思います。土地の価格も手ごろで十分魅力ですが、施設を利用したソフト事業をたくさん行うことで、町のイメージアップを図ることも大切ですね。

それに施設が立派なのですから、事業内容ももっとランクを上げてほしいと思います。この町に居ながら、一流の演奏家の演奏が聞けたり、人気のあるスポーツ選手のスポーツ教室に参加できることは、とても幸せなことなのですから。

ここが◎!

将来を見据えながら、交通網、立地条件を上手に生かしてバランス良く町が変わってきていますよね。私たちが戸惑ってしまうような、急激な変わり方をしていない、私にはそれがとても良いことに思えます。

それに町の人たちが、自分の意見を発言したり、いろいろな角度から物事を考えたり、積極的になってきたのもすばらしいことだと思います。





夏、いろいろ

暑い夏が終わりました。
夏の間、今年もみんな精一杯
がんばりました。
そのスケッチを三枚…

おいで、おいで。
こっちの祭りは楽しいぞ

義経まつりが
始まりました



国見町商工会（紺野平二郎会
長）が主催し、町と奥などが後
押しをする義経まつりが、八月
十五日に開幕しました。藤田商
店街を舞台に趣向を凝らしたイ
ベントが繰り広げられました。
義経まつりは、昨年引き続
き二年目です。苦境に立つ商店
街に活気を取り戻し、子どもた
ちに楽しい思い出を、と開かれ
た町づくり事業です。
十五日は、商店街の通りが歩
行者に開放され、流しそうめ
ん、野菜・果物市、ビアガーデ
ンなどの屋台が軒を並べる中、
餅つき大会や太鼓競演が行われ
ました。夕方には盆踊りが行わ
れ、やぐらの回りには大きな踊
りの輪ができました。そして十
六日の夜は、観月台公園で恒例
の花火大会が行われました。町
内の人はもとより、お盆で帰省
した人も大勢詰めかけ、夜空を
彩る花火を楽しみました。
義経まつりの呼び物、武者行
列は、九月二十三日に行われま
す。

へい、いらっしゃい
「くにも」はいかがですか

ふくしまビッグフェア



八月二十五日から二十七日ま
での三日間、福島市・四季の里
でふくしまビッグフェアが開か
れました。各市町村ごとに設置
されたテントでは、担当者がそ
れぞれの町の特産品を紹介した
り、観光PRをしました。
国見はもちろん、果汁たっぷり
り甘いモモ、色艶ひっかりコン
ヒカリ、食べて安心、体に健康
しみもち、たつぷりな自然…



食べてみらんしょ、
来てみらんしょ、
いいとこなんだから…

ということで
国見を宣伝

してきました

伊達地方の七つの町とJA伊達
達みらいなどで組織する伊達地
域農業振興協議会（富永武夫会
長）が八月一日、東京・原宿の
ふるさとプラザ東京にアンテナ
ショップを開きました。三十一
日までの一か月間、モモをはじ
め伊達地方の農産物を売り込み
ました。

この協議会は今年五月に組織
されました。東京でのアンテナ
ショップの開店は、モモの出荷
の最盛期に合わせて農産物の消
費拡大と町の良さを宣伝しよう
と実施されたものです。

一日には、会長の富永町長は
じめ協議会の代表のテープカッ
トに続き、ミスビーチがモモの
無料配布を行いました。国見町
からは、モモをはじめキユウ
リ、しもしもちなどの特産品が展
示され、即売されました。

また、富永町長ら協議会の代
表は、千葉のスーパーマーケット
トや太田市場、横浜市場などを
訪問し、モモや野菜などの特産
物とこの地域の良さを宣伝しま
した。

じ
んすけは
スポーツ万能の
大どろぼう



これはね、森江野で聞いた話…。

◇ すこしむかし、そのころ「伊達小僧」と異名をとった神出鬼没の大泥棒がいて、それが実は森江野の辺りで生まれた「さいとうじんすけ」という男。

◇ この男、生れつき身が軽く、剣術はもとより、まれにみる早足で、夜半に仙台まで出かけ盗みを働いて、早朝には田畑で働いているふりができたそうぞうで…。つまり、百キロメートルぐらいい一晚で軽くこなし、三度笠を胸に当てたまま走っても落ちなかったという脚力

の持ち主。また、稲ぐい一本あれば高い塀もお茶の子さいさい、ピョンと飛び越えられたとのこと。

しかし、ついに捕まって監獄へ。刑期を終え、故郷恋しさに帰ってきたときには、もうかなりの歳になっただけで、もうさうです。でも、さすがは「じんすけさん」、同業者とおぼしきおぼあきんを連れてきたには、村人も目をパチクリ。けれど人情深い村人たちの計いで、老後はまじめに送ったそうぞう…。

くにみの
民話かるた

あら再発見



友だちたくさん できました

小坂小と西気賀小交流事業

小坂小学校の6年生17人が8月1日から2日間、静岡県西気賀小学校を訪ね、友だち作りをしました。この交流事業は昨年に引き続き2回目です。



西気賀へ行って楽しかったこと
の第三位は、潮風集会で
す。「西気賀の五本松」とい
う松の話も聞けたし、みんな
花火もしたからです。

第二位は、ボートに乗ったこ
とです。はじめてボートに乗り
ました。クラゲがたくさんい
て、目の前に大きな遊園地も見
えました。ほかのボートに乗っ
ているみんなに手をふったりし

すん

楽しかったよ

楽しかったこと

ベスト3

第一位 漁船乗船

船に乗って、すごいスピード
で走るのがおもしろかった。
水がしょっぱかったけれど、
気持ちよかったです。

第二位 潮風集会

最後にやった花火が良かった
です。そのほかにも、コンサー
トやゲームも楽しかったです。

て、すごく楽しかったです。

そして第一位は、やっぱりた
くさんの友だちができたこと
です。「一緒に遊んだり、話しま
した。ときどき、文通している
人以外の人が「沙織ちゃん」と
声をかけてくれたので、すんこ
ううれしかったです。私も気楽に
話せました。
ほかにも座禅や、一緒にカレ
ーライスを食べたりしました。
とても楽しかったです。



一條 沙織さん



富塚 靖子さん

幼稚園の子から大人まで、み
んなが私たちを快く迎えてくれ
てうれしかったです。とてもい
い思い出になりました。

第三位 桜の木の下での昼食

みんなで食べたカレーライスは
おいしかったです。
ボラのさしみは最高でした。
もう一度食べたいと思います。

農業経営者海外派遣

ヨーロッパへ行行ってきます

この事業は、国見町が事業主
体となり、自立した農業を目指
し励んでいる農業経営者に、国
際的な視野と感覚を身につけて
もらうとともに、農業経営に関
する知識を修得し、今後の地域
農業の推進者になつてもらった
めに実施されるものです。

今回参加する高橋一博さん
は、モモ、リンゴ、プラムなど
の果樹を栽培している青年で
す。

「ヨーロッパの農業の経営感
覚や天敵を利用した生物農薬な
ど、農家にホームステイした
り、農業大学を視察しながら学
んできた」と話しています。
訪問国は、ドイツ、オランダ
など五か国。九月三日に出発し

十六日に帰国します。



高橋 一博さん

了。北米のほか中国、欧州
など五コースに七十三人の団員
が派遣されます。

今野さんたちは、九月九日に
成田を立ち、カナダのビクトリ
アやバンクーバー、アメリカの
サンフランシスコなどで交歓
会、ホームステイ、ボランティア
についてのグループ研修を行
い、二十三日に帰国します。
「わくわくします。見る、聞
く、話す…。自分の五感を十分
に働かせて、たくさんのことを
学んできたい。楽しくできた
と思います」と抱負を語って
くれました。

若人の翼 こちらは

カナダとアメリカです

福島県青年海外派遣事業「若
人の翼」の団員には、今野明子
さんが選ばれました。カナダや
アメリカを訪れ、現地青年たち
と交流します。
今年のテーマは「ボランティア



今野 明子さん



あなたかな 心の青春 献血で

9月30日(火)は
国見町の献血の日です。

保健だより

保健増進係 ☎(85)2783

【場所】

国見製菓前
大岩機器工業所国見事業所
生協国見店前
朽木繊維前

【時間】

午前9時～午前11時30分
正午～午後1時
午後2時15分～午後3時30分
午後3時45分～午後5時

※成分献血は検査を含め約1時間程度がかかります。ご協力くださる方は、あらかじめお知らせください。

*** 乳児健診 ***

該当乳児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成9年7月生まれ) ・9か月児(平成9年1月生まれ)	11月20日(木)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

〈おかあさんへ〉

☆医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、家族計画などについて
☆母子手帳を忘れずに!

*** ツベルクリン反応検査(BCG接種) ***

該当乳幼児	実施方法
・平成9年1月1日～6月30日生まれの乳児 ・4歳未満の未実施児	ツベルクリン反応検査を行い48時間後に判定し、陰性(直径9mm以下)の場合にBCG接種を行います。

〈おかあさんへ〉

☆該当するお子さんには個別に日程などをお知らせしますが、4歳未満のお子さんまで接種対象となります。
☆ツベルクリン反応検査を受けていないお子さんをお持ちのおかあさんは、9月26日まで保健増進係へお問い合わせ下さい。

みんなで歩いて健康づくり

—町民ウォーキング大会—

と き…9月28日(日) 午前7時30分
と ころ…観月台文化センター～阿津賀志山頂
申込方法…9月26日まで保健増進係へお申し込み
ください。

(午前6時に花火で開催をお知らせします)



調味料を減らして
病気予防

・食塩も必要
食塩の中に含まれるナトリウムは、細胞が生命活動をするために、なくてはならない物質です。でもとり過ぎは高血圧や脳卒中、胃がんの原因になります。

・調味料は減らす
一日に体が必要とする塩分の量は「グラム」といわれてき、ところが私たちは食事のとき

・一日10グラム以下に
厚生省では塩分の摂取量を一日10グラム以下に減らすよう呼かけています。食事にひと工夫してみてください。

ラム前後の塩分を口にしていきます。

今後の予定

- ☆3歳児健診 (12月11日)
- ☆1歳6か月児健診 (12月18日)
- ☆3か月児・9か月児検診 (12月25日)
- ☆育児教室 (12月4日)



募集

国見町職員(保母)

国見町では、平成十年度に採用する職員(保母)の募集をします。

▼試験職種・採用予定人員:保母・若干名▼試験資格:昭和四十九年四月二日から昭和五十三年四月一日までに生まれた者で、保母の免許及び幼稚園教諭二種免許を持つ者または平成十年三月までに取得見込みの者▼受付期間:九月一日から二十六日まで(執務時間中に限る。郵送の場合は九月二十四日消印まで受付)▼一次試験日:十月五日(日)▼同合格発表:十月中旬▼二次試験日:一次試験合格者に通知▼申込用紙の請求:申込用紙は総務課で交付します。郵便で請求する場合は封筒に「保母採用候補者試験申込用紙請求」と朱書きし、八十円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封▼申込方法:◇申込用紙に必要事項を記入し、総務課に提出。郵送する場合は、封筒に「保母採用候補者試験申込」

と朱書きし、八十円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封▼受験票を受領したときは、最近六か月以内に撮影した本人の写真一枚を写真欄にはり、受験当日持参してください。
★問い合わせ

総務課 庶務係

☎(05)2112

福島大学社会人

特別選抜学生募集

福島大学の行政社会学部と経済学部の夜間主コースでは、地域の勤労者や主婦等を含む社会人で、働きながら学ぼうとする意欲のある方に教育の機会を開くことを目的に、「社会人特別選抜学生」を募集します。

★問い合わせ

☎(48)8064

福島大学学生部入試課

▼募集定員:◇行政社会学部:行政学科(二十人) 応用社会学科(十名) ◇経済学部:地域経済コースと企業会計コース(三十人) ▼出願資格:◇大学入学資格を持ち、平成十年三月三十一日現在の年齢が満二十三歳以上で、五年以上の社会人経験がある者◇就業し、入学後も就業

を続ける意志を持つ者で次のいずれかに該当する者:○平成九年三月以前に高校を卒業した者、または十二年の学校教育を受けた者○平成十年三月に高校の定時制または通信制課程を卒業見込みの者○大学入学資格検定に合格した者(いずれの場合も主婦を含みます。定時制、通信制、夜間の学校以外の在学期間は、社会人の経験期間に含まれません)▼試験期日及び選抜方法:十一月十九日(水):小論文・面接(大学入試センター試験は免除)▼出願期間:◇行政社会学部:十月三十日から十一月六日まで◇経済学部:十一月四日から十日まで(いずれも午後五時まで)

福島県

建設技術学院学生募集

建設技術学院は、中堅建設技術者の養成、各企業の在職者の再教育訓練のための教育機関です。

▼募集期間:平成九年九月一日から平成十年一月十四日まで▼応募資格:◇十八歳から二十五

歳までの男子◇高校卒業の資格を有する者(卒業見込みの者も含みます)▼試験:面接、作文、国語、数学▼教育科目:測量工学・コンピュータ工学▼経費:◇入学金:十五万円◇教材費二十万円
★問い合わせ

福島県建設技術学院
☎0243(23)0530

性教育を考える

県北保健所では、家庭での性教育を考える講座を開催します。

- ▼場 所…県北保健所会講室
▼申し込み方法…受講希望者は電話で予約
▼締め切り…10月21日(火)
★問い合わせ…県北保健所 健康企画課
☎(34)4325

10月28日(火)	・性教育ってどうするの? ・幼児期から思春期の心と体の成長
11月4日(火)	・今、子どもたちは… ・ゆがんだ性情報、性感染症

*時間はいずれも、午前10時から正午まで。
*2回実施しますが、1回のみ受講でもかまいません。





福島大学公開講座

福島の美術

福島の美術の歴史的、地域的な特徴を探り、解説します。

▼開催期日…10月1日から29日までの毎週水曜日・午後6時から7時30分まで▼会場…福島ルミネ・オークルーム▼募集定員…50人▼受講料…5,400円▼申し込み方法…受講申込書に必要事項を記入し、受講料を添えて申し込む。郵送の場合は、住所、氏名を明記し、80円切手をはった返信用封筒を同封した現金書留で申し込む▼締め切り…9月19日(金)

1日	中世編…中世水墨画と雪村周継
8日	近世編…近世蘭学と亜欧堂田善
15日	近代編…近代福島の美術と来福した画家たち
22日	現代編…福島の工芸—美術的観点から—
29日	現代編…福島の絵画—身体表現をめぐる—

★申し込み・問い合わせ

福島大学教養学部庶務係 ☎(48)8103



国見町の行政相談委員
内池 和子さん
☎(85)33220

★問い合わせ
総務課 庶務係
☎(85)2112

▼特設行政相談所◇日時：十月十三日(月)午前十時から午後三時まで◇場所：観月台文化センター
行政相談委員は、通常、自宅
で相談に応じていますが、十月は特設相談所を開設します。同時に県政巡回相談も行いますので、気軽にご相談ください。

制度の利用を促進するために全国一斉に各種の行事を実施します。行政相談は、国や県、市町村の役所、公園や公庫、NTT、JRなどの仕事に関して困っていることや要望について相談に応じ、その解決のお手伝いをするものです。

●秋の行政相談週間

●悩みや苦情を

●お寄せください

十月十二日から十月十八日までの一週間は「秋の行政相談週間」です。総務庁では行政相談

●催し

ドック検診で健康チェック

国見町では、国保加入者を対象にドック検診を行います。今年は、人間ドックに加え、脳ドックも実施します。

生活習慣病(成人病)の予防には、バランス良い暮らしや節度ある生活が大切ですが、定期的な健康チェックも必要です。受診料の町の補助もあります

から、この機会にぜひお受けください。

▼対象者…国保加入者で35歳以上70歳未満の方

▼受け付け期間…10月1日から7日まで

▼申し込み方法…負担金を添えて国保係へ

★問い合わせ 保健福祉課 国保係

☎(85)2785

	脳ドック	入院人間ドック	日帰り人間ドック
自己負担	12,000円	初めての方…6,000円 2回以上の方…30,000円	初めての方…3,000円 2回以上の方…15,000円
受付人数	30人	80人	100人
実施期間	平成9年10月～平成10年3月		平成10年1月～3月
実施機関	公立藤田総合病院		

*脳ドックは、入院人間ドックを申し込んだ方に限ります。

なお、詳しいことは回覧でお知らせします。



いざというときに...

一 国見町地域総合防災訓練一

防災関係機関と団体、住民が一体となった総合防災訓練を行います。

日時 10月30日(木) 午前8時から
場所 上野台運動公園、県北中学校など
主催 国見町、県北地方振興局、伊達地方消防組合消防本部
訓練 避難誘導、消火、救助、水防、たき出しなど

★問い合わせ 総務課庶務係

☎ (85) 2112

公共下水道への接続は

お済みですか

町内の三十分の地域で公共下水道の供用が始まって一年半がたちました。

供用が始まった区域内の家庭では、水洗トイレの排水などほもちろん、台所や浴室から出る生活排水も、下水道の供用が始まったときから六か月以内(くみ取り式トイレの改造は三年以内)に排水設備を設置して処理しなければなりません。この接続が済んでいない家庭は一日も早い工事をお願いいたします。町では無利子の整備資金制度を設け工事費用の助成をしていますので、ご相談ください。

★問い合わせ

都市整備課 下水道係

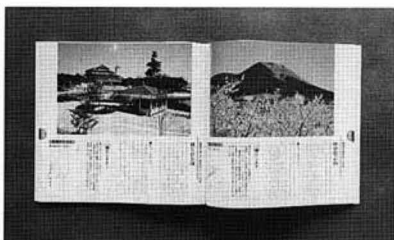
☎ (85) 2984

「ふなや」風景

パンフレット

県北地域の十七市町村で組織しているふくしま拠点まちづくり協議会が、県北地方の心に残る風景や名所をまとめて冊子にしました。この「ふるさと百景」を二十五人の方に差し上げます。官製はがきでお申し込みください。

▼申し込み方法：官製はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて企画商工課(藤田字一丁目二、2の1)へ
▼締め切り：十月三十一日(当日消印有効)
▼その他：申し込み多数の場合は抽選、発表は発送をもってか



えさせていただきます。

★問い合わせ

企画商工課 企画商工係

☎ (85) 2927

9月1日から 一部負担金が変わります

老人医療の一部負担金が、9月1日から変わります。

▼外来...

外来で診療を受ける場合は、1回につき500円の一部負担金を1か月4回の限度で負担していただきます。

▼入院...

入院の場合は、1日1,000円の一部負担金を負担していただきます。ただし、老人福祉年金受給者で住民税非課税世帯の方は、1日500円です。

▼薬剤...

外来診療を受けて薬剤をもらうときには、これまでの定額負担に加え、その日数や種類に応じて負担額が変わります。

外来時薬剤の一部負担金

内服薬(1日分)	外用薬(1回分)
1種類..... 0円	1種類..... 50円
2~3種類..... 30円	2種類..... 100円
4~5種類..... 60円	3種類以上..... 150円
6種類以上..... 100円	とん服薬(1回分)
	1種類..... 10円

*住民税非課税世帯などで老齢福祉年金を受けている人のうち一人暮らしや夫婦二人暮らしの場合は、これらの一部負担金が免除されます。

★問い合わせ 保健福祉課 国保係

☎ (85) 2785



塚野目ロードレース大会



- 日時…10月19日(日)
8時・塚野目集会所集合
- 申込締切…10月14日
- 問い合わせ・申込先
大会事務局(寺島和司)
☎(85)4865

●●●●●ご協力をお願いします●●●●●

就業構造基本調査

十月一日、就業構造基本調査が行われます。
この調査は、就業、不就業の実態を把握し、国や都道府県が雇用対策などに関する施策の基礎資料とするために行うもので、全国で約四十三万世帯の十五歳以上の方が対象となります。

選ばれた世帯には、調査員が訪問して、調査票をお配りしながら記入方法などを説明します。ご協力をお願いします。

★問い合わせ

企画商工課 企画商工係

☎(85)2927

● 今年も町民運動会を行います。たくさんの方の参加をお待ちしています。

町民大運動会



10月10日(体育の日)
午前8時から受付(雨の場合は12日に順延)
上野台運動公園 総合運動場

★問い合わせ
生涯学習課 体育係
☎(85)2676

10月の心配ごと相談

6日(月) 渋谷愛子さん 佐藤光雄さん
15日(水) 後藤アヤさん 豊田清一さん
24日(金) 村上金正さん 野村トモさん
場所 役場(2階)相談室
時間 午前9時~正午

観月台文化情報



●●●●●問い合わせ●●●●●
生涯学習課 文化振興係 ☎(85)2676

9月

27日(土) 吉原知子 スポーツ講演会



講演会
●午後1時30分
バレーボール教室
●午後3時
入場無料

10月

4日(土) イルカ コンサート
午後6時30分



18日(土) 岸千恵子 民謡ショー
午後2時・6時(2回)
入場料 1500円



人口と世帯

人口 8月1日現在
男 5,582人(+4)
女 5,982人(+1)
計 11,564人(+5)

出生 13人 死亡 8人
転入 17人 転出 17人

世帯
3,125世帯(-2)

結婚おめでとう

栗野 雅之さん・寿子さん(宮町北)

誕生おめでとう

お子さん 保護者

斎藤 康平さん・博昭さん・麻衣子さん

(藤田光陽)

菅野 瑞生さん・幸治さん・美千代さん

(藤田光陽)

井上日名希さん・光明さん・明美さん

(滝山)

伊藤 勇人さん・淳さん・佑美子さん

(滝山)

高橋 彩花さん・正利さん・美保子さん

(貝田)

徳江 祐樹さん・昭一さん・正子さん

(徳江北)

本間 悠人さん・俊幸さん・ナオミさん

(山崎宮館)

草川 亜衣さん・宏さん・由美子さん

(本町)

渡邊 圭佑さん・宏之さん・春美さん

(宮町北)

おくやみ申し上げます

松浦 キヤさん75(大町南)

佐藤 岩吉さん80(前田)

仲野 ナオさん70(泉田中)

八巻 亀壽さん87(第7町)

紺野金兵衛さん84(本町)

(8月20日届出分まで)



キャンピング 思い出しのり

◆少年仲間づくり教室◆

少年仲間づくり教室のキャンピング研修は、七月二十二日から二十四日まで宮城県白石市の国立南蔵王青少年野営場で開かれました。

このキャンピング研修は、自然の中での生活体験をとおして、たくましい精神を養いながら、お互いに協力して活動することの大切さを学ぶことを目的に開かれたものです。今年も、三十人の教室生が参加しました。

一日目は、野営場に到着後、テント設置をしてから、キャンピング場の近くの沢で水遊びをし

ました。炊飯活動ではカレーライスをづくりに挑戦し、夜は、星空を観察しながらのナイトハイキングを楽しみました。

二日目は、強い日差しの中、「水芭蕉の森」へのハイキング、夜はキャンピングファイヤーを行いました。

そして最後の日は、テントの撤収作業と設営場所の清掃です。猛暑の中、全員で一生懸命清掃しました。

三日間にわたって、暑さや虫さされにも負けず、力を合わせて活動した子どもたちは、ひと回り大きく成長しました。



◆ジュニア仲間づくり教室◆

公民館では中学生を対象に、野外活動を通して自然環境の大切さを理解し、友情を深め協働性を培うことを目的に、「ジュ

ニア仲間づくり教室」を開催しています。

八月一日に開講式と事前学習を行い、八月六日と七日、国立南蔵王青少年野営場で野外学習を実施しました。六日は、七ヶ宿ダムにある「水と歴史館」を見学した後、不忘山のすそ野にある長老湖で昼食をとり、キャンピング場に向かいました。

野営場では、ボランティアの大学生からキャンピングの心得や自然保護について話を聞いた後、テント設置にとりかかりました。カラフルなテントをみんな協力しあって張り終えた中学生は、澄んだ空気が、小鳥の鳴き声、開放感と自然に包まれながら小さな家で家で休息を取りました。夕食はグループ分担の献立です。責任重大、真剣そのものです。悪戦苦闘の末のご飯



「フラワーアレンジメント教室」 受講生募集

- ◆開講日 10月25日(土)、11月8日(土)
11月22日(土)、12月6日(土)
12月20日(土) 計5回
- ◆場所 国見町観月台文化センター
- ◆時間 午前9時30分～11時30分
- ◆定員 15人
- ◆講師 フラワーデザイナー 齊藤優子先生
- ◆内容 初心者向けのフラワーアレンジメント
- ◆材料費 花代として1回2,100円(計10,500円)
- ◆申し込み 10月13日(月)まで生涯学習係へお申し込み下さい(電話での申し込み可)

カレー、味噌汁を楽しく食べました。夜は星を観測しながらのナイトハイキングでした。翌朝は六時起床、ラジオ体操、朝食はハンバーグサンドイッチ。眠い目をこすりながら朝食準備でした。テントを撤去して、帰

路につききました。途中、山間の遠刈田こけし村で、心温まる作品を見学しました。参加した十三人の中学生には夏休みのいい思い出がたくさんできました。

新しい本がきました

文化センター図書室

- 一般図書
 - くるまたちの社会史 (斎藤俊彦)
 - かかやく日本語の悪態 (川崎洋)
 - 消えた暗黒美術品 (藤原三郎)
 - ももこの世界あちこちめぐり (さくももこ)
 - そばは何者 (藤原三郎)
 - 漆のみのる国 (藤原三郎)
 - 海嘯 (田中秀樹)
 - 邪眼鳥 (前井康徳)
- 9匹の謎 (岡本朝郎)
- 嗚ろ伊右衛門 (京極夏彦)
- 「児童図書」
- ドロセルマイヤットの人形劇場 (斎藤洋)
- アリスの見聞、物語 (斎藤洋)
- 氷の花束 (カレン・ウシユマ)
- 酸っぱいキアス (アリソン・アトリー)
- チキンサンデー (ボトリシア・ポラック)
- くずみ小太郎旅日記 (飯野和好)
- かすのうちゆうでたいぼうけん (サマン&ル・シヤア)
- おじいちゃんだいすき (ロビン・リス)
- ウィリアム・スタイツ (ロビン・リス)
- さて、ばくは (モニカ・フェイト)



第二回町長杯ナイター野球大会は、七月十五日から二十五日まで、上野台運動公園総合運動場で行われました。
参加した六チームは、熱戦を繰り広げ、ダイナミックが優勝



審査の結果、金賞十名、銀賞十名、銅賞十五名が選ばれ、それぞれに賞状と賞品が送られました。



阿津賀志学級、くにもみ女性教室、そして成人学級の合同学習会は、八月八日に東北地方振興局県税部の村岡忠広さんを講師に招いて、税についての理解を深める学習でした。
現代の税金の特徴は、個人個人が自分の力で行っていたことがだんだん行政の手に移行してきたため、国や県、市町村では必要な資金を調達しなければならなくなりました。その経費を賄うために納めるのが税金だと

生涯学習



優勝はダイナミック

自慢の朝顔を展示

阿津賀志学級

しました。なお、成績は次のとおりです。
▼準優勝：シックステイナイナーズ
▼第三位：国見ジャイアンツ

税金について考える

合同学習会

した。展示会には、一般の方も多数観覧に訪れ、精根込めて作られた素晴らしい朝顔に見入っていました。

行事のお知らせ

9月

- 16日(火) 移動図書(大枝小)
- 17日(水) くにもみ女性教室(研修旅行)
パソコン教室
- 18日(木) 移動図書(森江野小)
- 19日(金) 趣味の園芸教室
阿津賀志学級・くにもみ女性教室
(スポーツ民謡教室)
成人学級(ニューススポーツ)
組み紐教室
パソコン教室
- 26日(金) 子育て教室(親子で遊ぼう)
組み紐教室
- 27日(土) 「吉原知子」スポーツ講演会・
バレーボール教室
- 30日(火) 阿津賀志学級(書道教室)

10月

- 1日(水) くにもみ女性教室(体づくり)
移動図書(小坂小)
- 2日(木) 移動図書(藤田小3年)
- 3日(金) 阿津賀志学級・くにもみ女性教室
(スポーツ民謡教室)
子育て教室(自主学習)
移動図書(藤田小2年)
- 4日(土) イルカ・コンサート
- 6日(月) 休館日
- 7日(火) 移動図書(藤田小1年)
- 10日(金) 町民大運動会
- 11日(土) 少年仲間づくり教室
- 14日(火) 阿津賀志学級(書道教室)
移動図書(大枝小)

いうこと、行政への依存度が大きくなればなるほど、その額は大きくなっていくというお話でした。次いで、税の種類とわが国の税法の説明があり、最後に、大化の改新以後の租・庸・調や江戸時代の地租、課役から現在の税制にいたる税の歴史について、分かりやすく説明していただきました。
この合同学習会を通して、直接私たちの生活と関わりのある税について改めて考える機会を得ると同時に、私たちがもつと税に対する関心を高めることが大切であると感じました。

**体
操で
壮快**

8月5日、上野台総合運動場で夏の巡回ラジオ体操国見大会が開かれました。ラジオ体操の歌を歌った後、第1、第2体操の順に体を動かしました。この模様はラジオで全国に生放送されました。

**カ
ッパ
たちの
夏**

町内の小学6年生が出場する水泳交歓会が7月28日に開かれました。参加した137人が、自由形や平泳ぎなどの6種目に自己記録更新を目指して力泳を繰り広げました。

**楽
しい
音楽会**

〔福島民報社提供〕

8月31日に親月台文化センターで行われたファミリーコンサートは、第1部が小さい子どもたち向けの内容、第2部がクラシック中心の大人の音楽会。すてきにゆったり楽しみました。

**す
ごいよー!**

「子どもの日展」ともいわれる全国学校秀作美術展覧会で、羽根真実子さん（藤田小六年）の「小人の話」が最高賞に選ばれました。また、特選や秀作賞にも国見町の子どもの作品が多数選ばれました。



〔福島民友新聞社提供〕

編集・発行／国見町 総務課

T969-17
福島県伊達郡国見町大字藤田字
一丁田二2の1

☎ 0245-85-2114
FAX0245-85-2181

「児童生徒文集」
くじみ 第29回 から

水はまるで森の中をかける忍者
小さな岩のくぼみでも
するするすつとかげ下りる
水はまるで空を飛ぶ忍者
大きな大きな湖のエンペーターを
ひとつ飛びでかけ下りる
水はまるでしのび忍者
どんな大きな川の流れるも
ゆったりと流れ落ちる
水はまるで自然の忍者
かなわないなあ

水は忍者
森江野小 村上智士

なごきなげたる